

町学習交流施設「エピカ」が開館

町民が集う活動拠点に

町が平泉字志羅山に整備した町学習交流施設「エピカ」は7月1日、開館しました。町立図書館と公民館を集約し、子育て支援スペースや多目的ホール、情報発信の機能を備えた複合施設で、「町民の活力を生み、育てる」にぎわい交流拠点」を基本コンセプトに、幅広い世代が集う地域コミュニティの要としての役割がスタートしました。



町学習交流施設「エピカ」開館を祝い、テープカットする青木町長(中央)ほか関係者

約70人が出席した開館式典で青木町長は「施設を中心ににぎわいが増し、子どもからお年寄りまで幅広い世代が学び合い、交流し合いながら、創造力を育むことができる施設となるよう、指定管理者とともに全力で取り組む」とあいさつ。関係者がテープカットして開館を祝いました。

テープカットを行った平泉中学校生徒会長の齋藤大起さん(3年)は「開館を待ちわびていたのでうれしい。友だちと一緒に受験勉強をしたい」と開館を喜びました。施設の運営は、「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」が指定管理者として行います。



1階の子育て支援スペースでは「おはなし会」が早速開かれ、親子連れが楽しいひとときを過ごした=7月3日



「エピカ」は1階に図書館や多目的スペースがあり、2階は学習スペースのほか、公民館機能として研修室などが備わる

平泉LCが 図書を寄贈

平泉ライオンズクラブ(LC、佐藤薫会長)は6月28日、町に図書50万円相当を寄贈しました。写真。

同日は佐藤会長らが役場を訪れ、青木町長に目録を送り、新施設での活用に期待を込めました。

同LCは38年間、町内小中学校に図書カードの寄贈を継続してきました。この度、町学習交流施設「エピカ」の開館に合わせ、図書の寄贈を決めました。図書館内に開設する「ライオンズ文庫」に収蔵されます。



①観光客を前に、中尊寺金色堂前で清め水を浴びる本神輿②久々の祭りで威勢のいい掛け声が響いた③神事で安全を祈願する参加者たち④つえを突いて鉄の輪を鳴らす金棒隊

勇壮豪快！3年ぶりに 平泉水かけ神輿



7月16、17の両日に町内で3年ぶりに開かれた「平泉水かけ神輿」。16日に宵宮とひらいずみ夜祭りが観自在王院跡などで開催され、17日には観自在王院跡を発着点に神輿渡御が盛大に繰り広げられ、本神輿が町内を勇壮、豪快に巡行しました。久々の祭りを見ようと沿道には多くの人が集まり、本神輿を目掛けて清めの水を容赦なく浴びせるなど、町は活気づきました。

